

危惧される首都圏大地震をしのぐために

～歴史に学び、東日本大震災の経験を風化させない～

本年は、東日本大震災から5年という節目の年にあたります。千葉県においても、大津波や液状化現象によって大きな被害をこうむりました。

本年4月には、熊本地震が発生したことをうけて、地震の動きが活発化しているともいわれています。今後の日本列島の周りでは、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震などの大規模地震の発生が危惧されています。

そのような中で、東日本大震災の経験を風化させることなく、千葉県内で想定される被害状況や防災・減災対策について広く意識向上を図っていきたいと考えています。

プログラム

開場 13時

開会 13時30分

[基調講演]

「首都直下型地震に備えるー熊本地震に直面してー」(仮題)

講師：若井康彦氏(都市プランナー・前衆議院議員)

[パネルディスカッション]

司会 宮崎 伸光(千葉県地方自治研究センター理事長・法政大学教授)

コメンテーター 若井康彦氏

パネリスト 浅尾 一巳氏(千葉県防災危機管理部 防災政策課 主幹)

岡野 純子氏(浦安市議会議員)

市町村の行政関係者(現在、調整中)

- 日時 2016年9月17日(土)
13時30分～16時50分
- 場所 千葉県教育会館本館203号室
〒千葉市中央区中央4-13-10
- 主催 自治労千葉県本部
千葉県地方自治研究センター
- 後援 連合千葉
- 参加費 無料

★お申込は
自治研センターへ

電話 043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆9月2日(金)までに
お申し込み下さい☆